

## 「インコに優しい主人と娘」

京都市 看護婦 斎藤 澄子

中二の娘が夏休みの終わるころ、インコを飼いはじめました。手のりにしたいというのでヒナを二羽にしたのですが、一羽に元気がなくなり毛もはずす、足が弱くなってきました。子供のやることに黙って見ていた主人が、子供が学校に行っている間、二時間おきにエサをやり、パートで帰ってきた私とバトンタッチ。驚きです。長女は受験で力入りしていたのに、鳴き声が変わったと、犬猫病院に連れて行ってくれました。

普段、自分のことしか気がつかず「自己中心的な若者め。そして父親も」と思っていました。が、やはり弱いものには優しさをもって世話をしてくれるのだと分かったホッしました。

## 「年にとって卵を産んだメスのチャボは天国へ」

八幡市 主婦 田中 陽子 (48)

昨年の異常な夏の暑さを告げるころ、白いメスのチャボ、コッコが天国へ行きました。我が家へ来たのは、二年くらい前。つがい、そのときは「もう年をとっているから卵は産みませ」といわれていました。

夫婦仲はともよかったです。いつも一緒に寄り添っていました。ところが寒い晩、雄が死んで、それからコッコは家の中へ上がってくるようになりしました。ある日、こたつごんの中へもぐり、ジッと座ってみたり足で砂をかくような動作をしてみたり、何かおかしいなと思っていたら、小さな卵がありました。その後三日おきに卵を産むようになり、子供たちも大喜びでした。

## 帰ってきた鼻炎のジロ

岸和田市 公務員 上原 孝子 (43)



昨年の大みそかの午前四時、息子がよく帰ってきてくれました。「お母さん信じられへんと思うけど、これジロや」と私を起した。まさか、まさかの気持ち。四年間、一緒に暮らしていたネコのジロが家を出して一年が経っていました。とほいとも、鼻炎がなくあきらめていました。「この耳の傷あと、折れた歯。間違いない。ジロや」と主人。昔中にびっくりするほどのけがをしてまで、

希望とくしゃみ。...

## ペットあれこれ ⑦

我が家のハッピーは、飼いが転動でマンション住まいのため預かっている大で、はや四年目を迎えます。すぐスマートな大で、あんまり食べないと思っ

ハッピーはダイエット中

川西市 主婦 岩橋 矢佐子 (45)

が、いつの間にか大食になり、ブクブク肥えて、以前の姿なんて、どこにもありません。車帰ると、ガレージを開けています。

## 動物も親を見て育つ

吹田市 主婦 南 照子

我が家が最初にネコと出会ったのは九年前です。シャムネコが一日中、外をうろついていて、夜寒くなったので家の中に入れてやりました。すぐさま、十年來のような顔で居つき、家の中で飼う動物がこんなにも可愛いものかと思いました。どこかで飼われていたに違いない行儀の良さがありません。

子供を産んだときは、もう孫のように可愛くて、その中の一匹を残しましたが、動物は親を見て育つことを痛感させられました。私がしつなくても、息子ネコのレオちゃんは、いす以外の上には上らないし、テーブルの上の食事をとるなんて絶対にしません。

寝るのも起きるのも一緒にレオちゃん、「お母さんと同じだけ生きてね」と祈っています。

## 家出1年2カ月で里心。のネコ

岸和田市の上原さんからの「家出係から」

をしていたネコが一年二カ月前で帰ってきたという投稿ですが、本当にびっくりされたことでしょう。迷子になった犬が数年たって帰ってきたという話は聞いたことがあります。が、ネコが一年二カ月前で帰ってきたのは珍しいことでしょう。よく覚えていたものと思えます。けがをして、フツと里心が出てきたのかも知れません。ネコは安住の地を見だし、もう家出はしないことでしょう。

投稿歓迎 〒5630 大阪市北区堂島一の六の二〇 毎日新聞大阪本社第二整理部「トークランド」係へ。掲載者には本社特製テレホンカードを贈ります。